

平成18年度東北海区海況予報 第1号

平成18年4月20日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2006年4～6月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、極めて南偏～やや南偏(35°N～36°N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並～やや北偏で推移する。
- (3)常磐沖の暖水塊は、近海に停滞する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並～やや南偏(38°Nまで)で推移し、三陸～常磐沖に冷水域が残る。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢(143°E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2006年1月～2006年3月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏(35°30'N以北)～極めて南偏(35°10'N)で推移した。
- (2)釧路南東沖の暖水塊は北東へ移動し、常磐沖の暖水塊は近海に停滞した。
- (3)親潮第1分枝の南限は、1月は平年並(41°N以南)、2月はかなり南偏(37°50'N)、3月は平年並(38°20'N)であった。また、三陸～房総近海に冷水域が見られた。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢であった。
- (5)表面水温は、三陸沿岸から沖合にかけて平年より1～3℃低かった。

(現況(2006年3月中旬～4月中旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏(35°30'N)*。
- (2)暖水塊が釧路東南東沖約220km*と、常磐沖約220kmにある。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、平年並である(38°20'N)。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並である(142°20'E)。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による